

令和6年10月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年10月分について、輸出は「電気計測機器」、「自動車の部分品」などが減少したものの、「原動機」、「科学光学機器」、「ポンプ及び遠心分離機」などが増加したことから対前年同月比8.4%の増加となった。また、輸入は「原動機」、「重電機器」などが減少したものの、「有機化合物」、「医薬品」、「通信機」などが増加したことから、同23.8%の増加となった。

その結果、差引額は37億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,221億円	+8.4%	1,184億円	+23.8%	37億円	▲78.1%
	2カ月ぶりの増加		17カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 原動機	67億円	+35.1%	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	99億円	33倍
		(2) 科学光学機器	51億円	+18.3%			(2) 医薬品	88億円	+68.4%
		(3) ポンプ及び遠心分離機	16億円	+73.7%			(3) 通信機	41億円	+172.7%
	減少品目	(1) 電気計測機器	74億円	▲17.3%	輸入	減少品目	(1) 原動機	206億円	▲5.8%
		(2) 自動車の部分品	41億円	▲15.3%			(2) 重電機器	12億円	▲30.8%
		(3) 半導体等製造装置	23億円	▲22.1%			(3) 航空機類	47億円	▲6.6%
主要地域 増減		アジア、EU、アメリカが増加			主要地域 増減		アジア、EU、アメリカが増加		

（参考）ドルレートは、145.87円（前年同月比2.0%、3.01円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。